



第72回鹿児島県畜産共進会 若雌1区「すずめ号」永山 祐輔さん

祝 最優秀賞第1席・九州農政局長賞 受賞

***** 目 次 *****

P 2・・・第72回鹿児島県畜産共進会

P 3・・・第37回鹿児島県青年大会

P 4・・・第12回事業運営委員会

P 6・・・作物ハイライト・子牛セリ市

P 8・・・第24回農協利用者年金友の会グラウンドゴルフ大会

P 10・・・化学肥料低減定着対策のごあんない

P 11・・・窓口レディ紹介

P 12・・・行事予定表



新しい夢 **どんどん**
育てよう明日を
JAグループ鹿児島



肝付吾平町

<http://www.ja-k-aira.jp/>



第72回鹿児島県畜産共進会(表紙)

吾平初 若雌1区 最優秀賞第1席 受賞

九州農政局長賞受賞

永山 祐輔さん



9月30日(土)霧島市始良中央家畜市場にて、第72回鹿児島県畜産共進会が開催されました。

昨年、全国和牛能力共進会が開催され、鹿児島県が実質日本一に輝きました。

今年は4年振りに入場制限の無いなか開催された鹿児島県畜産共進会は大勢の観客で賑わいました。

各地区予選を勝ち抜いた牛が59頭(若雌1区24頭・若雌2区17頭・父系群6組18頭)出品されました。地区別団体の部では、肝属地区は惜しくも2位の成績となりました。

吾平・肝属地区代表で出品された、永山 祐輔さんのすずめ号が若雌1区で最優秀賞第1席及び九州農政局長賞を受賞されました。

吾平町管内からは72回の歴史の中で、最優秀賞第1席・九州農政局長賞は初めての受賞であり、吾平牛・肝属牛の名声を高め、今後の吾平町の畜産振興・発展に大きな夢と希望を与えていただきました。

永山 祐輔さんは、「緊張して周りが目に入らなかったのですが、父 克之さんと目が合っただけでほっとしました。応援団の声援が心に響きました。関係機関・JAの皆さんに大変お世話になりました。この成績にもう少し酔っていたいです。」と話してくださいました。



次代を担う農業青年フォーラム 第37回鹿児島県青年大会

10月3日（火）鹿児島県JA会館 大ホールにて、第37回JA鹿児島県青年大会が開催され、県内より青年部盟友・関係者を含め、約140名が参加しました。

大会では、JA青年部の活動にかかる発表や、青年農業者の取り組み発表を通じて、青年部活動の強化・発展をめざし、今後の地域社会づくりや農業・農村の活性化へ向けて青年部が主体的に取り組んでいくための意思統一を図ることを目的に開催されました。

当JA青年部美里会より 田中 健太郎さんが、「食の大事さと黒豚の未来について」をテーマに青年の主張に出場し、「種付け・出産・肥育・出荷と一つ一つの過程が大事で、鹿児島黒豚ブランドが生まれます。結果は優秀賞でしたが、盟友の方の青年の主張を聴くことができ、すごく刺激を受けました。これまでの様々な方との出会いや教え・経験を糧に、鹿児島黒豚を盛り上げるため、一生懸命頑張っていこうと強く思いました。」と力強い決意の言葉をいただきました。



発表：田中 健太郎さん



ピーマン補助指導員並びに 新規就農者との語る会



9月12日（火）ピーマン補助指導員並びに新規就農者等11名による意見交換会が開催されました。

平成4年8月から、鹿屋市新規就農支援事業の研修制度を活用し、1年間の研修を終えた4名が8月より新規就農しました。

JAでは、新規就農者の自立にあたり不安解消と栽培技術の習得を図るために、補助指導員制度を設けています。

今年は、大園 和幸さんと永山 裕太さん2名に委嘱され、補助指導員として1年間、週に1回程度圃場の巡回により、農業技術や経営ノウハウ等を継承し、所得向上に向けた指導をしていただきます。

畠添 組合長は、「JAも行政と一体となり全面的にサポートしていきます。経験豊富な実績のある補助指導員の的確なアドバイスに従い、技術の習得により経営安定と所得増大を図ってください。」と激励のあいさつをしました。

その後、意見交換会が行われ、播種の時期や青色申告等について意見が出されました。

第12回事業運営委員会

組合員からの意見の聴取と話し合いを行い、JA運営に反映させることを目的に、10月2日(月)JA2階会議室にて第12回事業運営委員会を開催いたしました。

会議では、①令和5年度上半期決算状況について、②自己改革重点取組事項の進捗状況について説明し、その後、意見交換会を行いました。

委員から出された貴重な意見を参考に、今後も農家所得の向上と健全経営をめざして役職員・従業員等と一体となり取り組んでまいります。

《意見・要望》

①インボイス制度について、作物ごとに生産者への説明がなされたのではないかと思うが、部会にも所属していない小さな農家・組合員向けの説明会等は実施されないのか。

【回答】

JA内部のインボイス制度対応につきましては、購買課、給油所、Aコープ等の事業所で、JAが組合員・利用者の皆さまに発行する領収書等について様式を変更しておりますので、それらをインボイスとすることで対応していただきたいと思います。農家・組

合員のインボイス制度対応につきましては、令和3年12月に園芸振興会、畜産振興会の方々を対象に、税理士によるインボイス説明会を開催するとともに、冊子の作成・配布も行いました。米、ピーマン、なす等共販の作物につきましては、農協特例という特例措置があり、当JAの組合員に加入していただければ問題はありません。畜産関係につきましては、畜産農家の方で適格請求書発行事業者に登録された方、登録されていない方双方ともお知らせいただきますようお願いしております。

インボイス制度につきましては、10月1日に開始されたばかりの制度で、どの程度の影響が出てくるのか不透明な部分もあります。規模の小さい農家の皆さまにつきましては、対応状況を見ながら、個別相談等の対応をさせていただきたいと思っております。

②上半期決算については、非常に厳しい結果であったと理解している。そういったなかで、JAの組合員は肥料・飼料等、100%系統利用をしているのか。

【回答】

購買事業における系統利用につきましては、JAの周知不足・指導不足もあり、すべてが系統利用とはなっていません。商系の業者につきましては、定期的な巡回で現

場に出向き、現場の声を聴いております。

当JAにおいても、もつと出向く購買・販売を実践していかなければ系統利用率は上がらないと思います。組合員・利用者の方々に、当JAの事業を利用していただくなければ、JAの経営はさらに厳しくなってしまうので、出向く購買・販売の実践はもちろん、組合員・利用者との「対話と考動」を大切に、寄り添った事業の展開を進めてまいります。

③自己改革の重点取組の組合員の収入拡大対策のなかで、畜産の親牛分娩間隔を393日から385日と掲げている。分娩は年1産というのが習慣であったが、1年以内の分娩間隔でない理由は何か。

【回答】

分娩間隔につきましては、年1産というのが理想であり、目標とすべきではありませんが、現状、393日というのが吾平町における分娩間隔の平均日数となっております。393日を急に365日にするのは、大変厳しい目標であると考えられますので、通過点としまして385日という分娩間隔の目標設定をさせていただきました。今後、畜産振興会等の研修会・講習会を開催しながら、年1産という目標に向けて取り組んでまいります。

④分娩間隔の385日という目標設定は理解したが、吾平町における分娩間隔の平均日数が393日で、年1産365日以内でない理由は何か。

【回答】

毎年、頭数調査の際に、農家の方々それぞれの経営体系、分娩間隔、事故率等ヒアリングを実施しております。そのなかで、技術指導・経営指導を行ってはいませんが、393日という平均日数になっている状況です。

⑤Aコープについては、働き方改革で第3日曜日が定休日となっているが、この第3日曜日という休日設定が地域の方々にとってふさわしい日なのか。

【回答】

現在、定休日ということで、Aコープ・第1給油所は8月・12月を除く第3日曜日、オートパルは毎月第3日曜日を設定しております。

以前、Aコープは8億円の売上がありましたが、競合店の台頭や人口減少等により、現在は4億円となっています。内部で協議検討を重ねるなかで、働き方改革の問題や経営改善を図るために、売上の少ない日曜日を定休日とすることが妥当であると判断し、理事会の承認を経て決定しました。

⑥「なぜAコープに買い物に行かないのか？」と聞くと、金額は高い、品物は悪いといった意見が多い。経営者の皆さんはそういった消費者の声が聞こえているのか。この吾平町という小さな町で非常に貴重な店舗であるので、どうか存続できるように対策を講じていただきたい。

【回答】

Aコープは、青果コーナーの品質、地産地消コーナーの品数、鮮魚コーナーの価格や品質等、利用者の方々から様々な意見をいただいています。経営改善について、第2四半期のヒアリングや理事会において議論もさせていただきました。

今後は、内部異動等も含めて経営改善に向けた対策を講じるとともに現在、使用できなくなっている精肉コーナーの冷ケースについても早急に更新・対応させていただきまします。Aコープは、地域の命綱（ライフライン）ですので、ぜひ、組合員・利用者の皆さんもさらなるご理解・ご利用をお願いいたします。

⑦大隅縦貫道が開通した場合、購買店舗が並ぶ通りは裏通りになり、特に町外の方々の利用は少なくなると予想される。高齢化で人口も減少している状況を考えると、町外の方は非常に貴重な利用者であると思う

が、町外の利用者はどのくらいか把握しているのか。また、大隅縦貫道が開通する前提で、そういった利用者に何かアプローチ（働きかけ）を掛けるべきではないか。

【回答】

町外の利用者は、鹿屋市近隣の方や錦江町・南大隅町の方もいらっしゃいます。購買課は土日祝日も営業していますので、土日祝日に購買課に飼料等を買いに来店され、Aコープで買い物をし、給油所で給油後に、帰宅されるという非常にありがたく貴重な利用者の方々でございます。利用状況は部門によって若干違いますが、大体3割くらいの利用です。経営の状況もありますが、町外利用者の方々へのアプローチも含め、中長期的な対策を講じてまいります。

⑧今後、子牛価格の低迷や、飼料価格・燃料価格の高騰により、資金不足で助けを求める農家が出てくるのではないかと思う。そんな事業資金を必要とする農家が出てきた時、手を差し伸べるのかどうか、組織としてどう対応すべきか、考えなければならぬ局面に差し掛かっているのではないかと。

【回答】

9月30日に開催されました鹿児島県畜産共進会にて、応援・視察に来ていただいた畜



産農家の方々からも多くの意見をいただきました。

また、今年の6月から畜産振興会の会長であります東桂木利美さんに理事会の参加になっていただきました。理事会のなかでも畜産農家の声を届けていただいております。

J A は地域農業協同組合ですので、地域の農業振興のため、可能な限り農家の方に寄り添った対応をさせていただきます。



必見作物ハイライト



ピーマン

定植が終わり、誘引・収穫が随時始まっています。今年は、新規就農者4名の方も本格的にスタートしました。補助指導員のアドバイスなどを受け頑張っています。また、環境保全型農業の一環である天敵防除もスタートしていきます。本年度も「安心・安全」で良質なピーマンの収穫に励んでいきます。

なす

9月13日に定植は終わり、9月19日から収穫がスタートしています。今年は、5名の生産者で面積1.6haの作付けとなっています。来年の6月まで安定した出荷ができるよう栽培管理に努めます。



かぼちゃ

8月中旬から9月上旬にかけてかぼちゃの播種が行われました。気候に恵まれ、順調に生育しており、交配が終わり追肥作業に入っています。病害虫も増えてくるため、適期防除に努めていきます。

子牛せり市成績



＜単位：円＞

8月 子牛セリ	性別	頭数	平均体重	最高	最低	平均価格
	めす	32	274	556,000	165,000	439,844
	去勢	32	301	771,000	218,000	544,688
	合計	64	288	771,000	165,000	492,266
9月 子牛セリ	性別	頭数	平均体重	最高	最低	平均価格
	めす	32	282	612,000	134,000	383,250
	去勢	37	303	826,000	222,000	487,378
	雄	1	220	890,000	890,000	890,000
	合計	70	292	890,000	134,000	445,529

毎月、子牛せり市が開催される週の平日の5日間、母牛用飼料と一般ふすまの特売実施中！

イクヒカリ出荷終了



令和5年産早期水稻の検查出荷が9月6日（水）で終了しました。

検査実績は、19,442俵で、1等米比率15.6%、2等米比率69.3%、3等米比率14.7%、規格外比率0.4%でした。

格下げ理由については、登熟期の高温障害により、乳心拍、充実不足と部分着色粒が格下げとなりました。



かぼちゃ野菜価格安定基金交付



令和5年度産春かぼちゃは、生産者15名・栽培面積2.8haで12月下旬頃よりハウス栽培の定植が始まりました。順調に生育しているなか、遅霜や6月の梅雨の影響によりキズ果・イボ果の心配をしましたが、生産者の努力により最小限の被害に留まり、良質のかぼちゃを出荷することができましたが、ポリタフベルで保証単価を下回ったことから6名の生産者に合計443,884円が、鹿屋市吾平町指定野菜価格安定基金協会より基金が交付されました。

畠添会長は、「生産者が少しでも元気になり、かぼちゃ栽培に力を注いでほしい」とあいさつしました。



J A肝付吾平町畜産振興会総会

9月15日（金）、J A本所2階大ホールにて、J A肝付吾平町畜産振興会総会が会員・関係者50名出席のもと開催されました。

J A肝付吾平町畜産振興会は、現在会員数が76名・会長東桂木利美さんで活動を行っています。

総会では、令和4年度事業報告並びに令和5年度事業計画の説明があり、全議案原案どおり承認されました。

また、総会終了後には鹿児島県肉用牛改良研究所 新技術開発研究室 室長 磯部 知弘先生による「子牛生産における母牛の繁殖管理と対策について」の講演が行われ、参加者からは「親牛のミルクの量が足りないのですが」「子牛生産性を高めるには」等、質疑応答にも積極的に意見が出て、「話す側」と「聞く側」が一体となり、真剣な眼差しでうなずきながら聞き入った研修会でした。



東桂木利美会長 あいさつ



巡回健康診断実施



9月29日（金）～10月2日（月）の4日間、巡回健康診断が実施され、約320名の方が受診されました。巡回健康診断は「予約制」で実施され、密集を回避するだけでなく、短時間で効率的に検査を行うことができ、受診がしやすくなりました。

J Aでは、組合員・地域住民の皆さまの暮らしと健康を守るお手伝いをさせていただいています。

今後も、巡回健康診断や人間ドックを受診され、病気の予防や早期発見、早期治療で健康な毎日をお過ごしください。

鹿児島県厚生連健康管理センターの人間ドックにつきましては、共済課までお気軽にお問い合わせください。

問合先： 共済課 58-6537

年に1回は健康診断を受診しましょう！

第24回農協利用者年金友の会 グラウンドゴルフ大会



9月11日（月）、第24回JA年金友の会グラウンドゴルフ大会が、吾平町多目的グラウンド場で開催され、約110名の方が参加されました。

笹山 孝治会長は、「JAが、年金友の会員に色々な企画を開催していただき、ありがとうございます。私達会員は一人でも仲間を増やして、年金友の会員の輪を広げていきましょう。」とあいさつがありました。

当日は天候にも恵まれ、参加者の気分も快晴、ナイスプレーがあちこちで見受けられました。参加者の皆さんは、日頃の練習の成果を発揮され、年金友の会員・当JAの役職員との親睦交流が図られました。

今回の結果を踏まえまして、中央町①チームと美里あいら①チームは、11月9日（木）に開催されます県大会に出場します。

◎成績は次のとおりです。

団体優勝 中央町①チーム
二 位 美里あいら①チーム
三 位 美里あいら②チーム

個人の部 優勝

男子の部 上之段 節雄 様
女性の部 上名主 ユミ 様



団体優勝：中央町①チーム



セカンドライフセミナー



9月24日（日）鹿屋市東地区学習センターにて、JA鹿児島きもつき・JA肝付吾平町2JA合同主催のセカンドライフセミナーが開催され、参加者・関係者含め約45名の方が参加されました。



年金の疑問スッキリ

これから年金をもらう予定の全ての方を対象としたセミナーで、特定労務士 飯伏先生による「よく分かる年金について“年金”の疑問をスッキリ」と解説していただきました。

その後に、厚生連 小迎保健師による「目指そう健康長寿・「ためになる“健康”づくり」について楽しく学びました。

参加された方からは「年金の疑問がスッキリしました。」「健康で長生きするために健康体操を実践したいと思います。」と話していただきました。



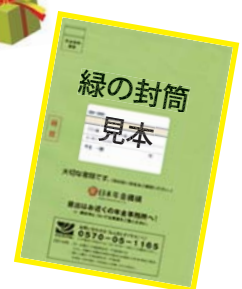
年金の受取はJA肝付吾平町で



お手元に年金請求の「**緑の封筒**」が届き、当JAにて受給される予定のお客様で、窓口に「**緑の封筒**」をご持参いただきますと、もれなく記念品を**プレゼント**いたします。お気軽にお問い合わせください。

現在、年金を他行で受取りの方も手続きが変更できますので、お気軽に金融課窓口までお越しください。

問合先：金融課 58-6538



町内会だより

美里あいら夏祭り花火大会 2023

8月20日(日)、吾平中学校付近の始良川で、かのや市商工会・鹿屋市吾平総合支所・JA肝付吾平町が協賛して、「美里あいら夏祭り花火大会2023」が開催されました。

昨年、美里あいら夏祭り実行委員会は、コロナに負けるな、そして地域を元気にしようと夏祭りに代わるイベントとして「美里あいら祈願花火2022」が、無告知で開催されました。

今年の花火大会は、3,000発の花火が打ち上げられ、暑い夏の夜に涼を求めて観客数9,800人が空いっぱい大きく上がる花火に、一緒に見上げる人や名前も知らないけれどそこにいる人達と共有して感動の連発。

可憐な花火に満足したイベントとなりました。

翌日は、地域貢献活動の一環として、当JAの職員・従業員等が花火大会の清掃活動に参加しました。



JAの「SDGs」(持続可能な開発目標)

2030年の達成を目標に設定された「SDGs」。「SDGs」とは、Sustainable(サステイナブル)Development(ディベロップメント)Goals(ゴールズ)の略で、日本語に翻訳すると「持続可能な開発目標」です。これまでも広報誌において、JAグループでは、SDGsの取り組みや趣旨を踏まえ、JAグループのすべての事業活動が、SDGsの目標達成に直接的に関与していると紹介してまいりました。今回は、JAが取り組むSDGsについて紹介します。

SDGsの目標達成に向け、大きな存在感を放っているものがあります。それは「地産地消」です。地産地消とは、地域で生産した農畜産物を、その地域で消費するというものです。



「地産地消」がSDGsに果たす大きな役割のひとつが、海洋資源や陸の資源の保護です。地域で生産したものを地域で消費することは、食べ物の多くを海外からの輸入に頼っている日本にとっては、食料自給率の低下をおさえるとともに、過度の生産を抑制できることから、資源を守る活動にもつながります。また、国外に目を向けてみても、「輸出のための農地づくりによる森林伐採」や「海洋資源乱獲」の抑制にも効果があります。

「地産地消」が果たすもうひとつの役割が、CO₂の削減です。地域で生産したものを地域で消費することで、食べ物を国外から輸入する際の輸送に係るエネルギーの削減、つまり、CO₂の排出を削減する効果があります。

当JAにおいても、地産地消をメインとした「美里吾平倶楽部」という、組合員の皆さんで構成された部会があります。毎朝、収穫された新鮮な野菜などを、当JAのAコープはもちろん、鹿屋市内のスーパーなどに卸し、消費者の皆さまへ届けています。



Aコープ地産地消コーナー

スーパーの野菜売場に立ち寄ると、「特売」と書かれた野菜に目が行ってしまいがちですが、たまには「地産地消」コーナーにも目を向けて、持続可能な未来について考える機会を作ってみてはいかがでしょうか？

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

化学肥料低減定着対策のごあんない ～化学肥料の低減を進める『地域の取組』を支援します～

肥料価格高騰対策事業の一環として、農家の皆様の「化学肥料の2割低減に向けた取組」の定着に向けた『地域の取組』を支援します。



JA肝付吾平町が支援する『地域の取組』※

令和5年6月から令和6年3月にJA肝付吾平町から購入した国内資源活用肥料及びJA堆肥の散布に係る経費を支援します。

※ 『地域の取組』の支援対象者は、鹿屋市吾平町に住所を有する農業者となります。

支援の内容

① 堆肥等の利用拡大支援

- ① JA堆肥の散布を委託された場合
・支援金は、1㎡あたり2,090円以内です。

② 国内資源活用肥料の利用拡大支援

- ① 国内資源活用肥料※を購入された場合
・支援金は、1袋/20kgあたり200円以内

※ リッチシリーズ、粒王シリーズ等が対象です。詳しくは購買課へお問合せください。



申請に必要なもの

次の2つがあれば申請できます。

① JA堆肥の散布、国内資源活用肥料の購入数量がわかるもの

- ①申請受付は令和6年2月頃に実施する予定です。
②JA堆肥の散布の証明書(令和6年1月分まで)は、営農企画課で発行します。
②国内資源活用肥料については、購買課にて肥料供給証明書(令和6年1月分まで)を発行します。
③令和6年2月分～3月分については、注文書を提出。(確実に購入、変更・キャンセル不可)
※確認のため、当JAにて発行した当該期間の請求書・領収書・伝票等をご準備ください。

② 申請書(当JAの振込先口座の確認、同意事項に同意していただく必要があります。)

万一来て備えて労災保険に加入しましょう ～JAグループ鹿児島 秋の農作業安全月間～



9月・10月はJAグループ鹿児島「秋の農作業安全月間」です。

労働者だけでなく、事業主や役員、家族従事者も労災保険に加入することができます。

補償内容の一例

療養(補償)
給付

●農作業(仕事)によるケガや病気を病院等で治療する場合
→必要な治療が「治るまで」無料で受けられます。

休業(補償)
給付

●農作業(仕事)によるケガや病気の治療のため労働することができない日が4日以上となった場合→休業4日目以降、休業1日につき給付基礎日額の80%が「休業の状態が続く限り」(医師の証明が必要)支給されます。

障害(補償)
給付

●農作業(仕事)によるケガが治った後に障害等級に該当する障害が残った場合
→障害の程度に応じた年金または一時金が支給されます。

問合せ先：営農企画課へ TEL58-5060

窓口レディ紹介

「こんにちは、JA共済です!!」

共済課

笑顔の似合う私たちです。何でもご相談してください。

一声添えた対応・笑顔で、信頼されるJAを目指して業務に取り組んでいます。

皆様のご来店を心よりお待ちしております。



共済課
寺園 美香



共済課
大久保 綾乃



共済課
命苦 莉々果



「いらっしゃいませ!」

金融課

私たちは、金融課の窓口レディです。

忙しい毎日ですが笑顔と体力には自信がありますので、明るく・親切・丁寧な窓口対応で皆様のご来店を最高の笑顔でお待ちしています。



金融課
中村 かおり



金融課
萩原 恵



金融課
宮田 莉咲



購読申込受付中
1,027円(税込)

問合先：企画管理課
58-6511

あなたのうちへ
福をマネー
「家の光」12月号・1月号
購読申込受付中!

家光 定価 (税込)
● 普通月号 629円
● 付録月号 (1・4・5・7・9月号) 922円
● 第21号付録12月号 1,027円

お申し込みはお近くのJAへ

家の光 12月号

1月号 別冊付録
12月号 第1・第2 別冊付録

ちびり地 ブック

- 理事会だより**
- 第十回理事会（八月二十八日）
- ① 定款変更に係る字句修正について
 - ② 高額貸出金について
- 第十一回理事会（九月十一日）
- ① 出資口数の減口について
- 第十二回理事会（九月二十九日）
- ① 令和5年度上半期資産自己査定結果について
 - ② 令和5年度上半期決算について
 - ③ リスク評価書の一部改正について
 - ④ 長期滞留者の人事ローテーションについて
 - ⑤ 高額貸出金について
 - ⑥ 営農継続支援対策要領（案）の策定について



木浦 小百合
審査室長兼コンプライアンス担当

10月から入組しました。
よろしく願いいたします。

新入職員紹介

11月～12月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
			11/1	2 年金友の会員デー (Aコープ) 第2回オートパル 友の会ゴルフ大会	3 文化の日	4 利用者感謝デー (給油所)
5	6	7	8	9 年金友の会員デー (Aコープ) 県年金友の会グラ ウンドゴルフ大会	10	11 利用者感謝デー (給油所)
12 農業祭	13	14	15	16 年金友の会員デー (Aコープ) 子牛せり市	17	18 利用者感謝デー (給油所)
19 【定休日】 第一給油所、オー トパル、Aコープ	20	21 J A杯グラウンド ゴルフ大会	22	23 勤労感謝の日 年金友の会員デー (Aコープ)	24	25 利用者感謝デー (給油所)
26	27	28	29	30 年金友の会員デー (Aコープ)	12/1	2 利用者感謝デー (給油所)
3	4	5	6	7 年金友の会員デー (Aコープ)	8	9 利用者感謝デー (給油所) オートパルファイナルフェア
10 オートパルファイナルフェア	11 准組合員と語る会	12	13	14 年金友の会員デー (Aコープ)	15	16 利用者感謝デー (給油所)

編集後記

朝晩涼しくなり、秋の訪れを感じる季節となりました。

10月に入り本格的に甘藷の収穫、なす・ピーマンなどの施設野菜も出荷が始まり、充実した「実りの秋」となっています。

9月30日に開催されました第72回鹿児島畜産共進会において、肝属代表として出場した永山祐輔さん所有のすずめ号が管内で初めて若雌1区で最優秀賞第1席・九州農政局長賞を受賞されました。四年後の全国共進会北海道大会に向け、最高のスタートとなり、今後の畜産振興にも大きな弾みとなりました。

また、51年ぶりに鹿児島県で開催されている「燃ゆる感動かごしま国体熱い感動風は南から」も鹿屋市でバレーボールやロードレースなどが開催されているほか、各地で熱戦が繰り広げられ、県民に勇気と感動を与えてくれています。

当JAでも、オートパル友の会や年金友の会、JA杯のグラウンドゴルフ大会・ゴルフ大会が開催され、「スポーツの秋」となっています。

11月12日(日)には4年ぶりに美里あいら農業祭の開催を計画しています。吾平産最上級牛肉を特別価格で販売するなど「食欲の秋」を体感できる催しを多数取り揃えていますので、ぜひ、ご来場をお待ちしています。

季節の変わり目となり、朝夕肌寒くなってきました。体調管理には充分留意され、農作業等頑張ってください。